

語学研修

海外研修に関するアンケート

1. 基本情報

渡航先	Canterbury Christ Church University	渡航国	イギリス
プログラム期間	2022年8月13日（土）～9月4日（日）	宿泊形態	ホームステイ
参加理由	①TOEICや英会話で学んだ英語を現地で使ってみたかったから②小さい頃から海外に憧れていたから		

2. 費用等の情報

項目	概算費用（日本円）
プログラム費用（出発前に支払い）	¥512,000
プログラム費用以外（現地で発生したものも含む）※	¥90,000
合計	¥602,000
※プログラム費用以外で発生した主な費用	
食費（スーパーや学食）、交通費、お土産、観光・外食費用（レストランやカフェ） 飲食店での出費が大きかったです。チェーン店は別ですが、ランチで2000円ほどかかってしまうことがありました。	
決済方法等に関するアドバイス	
基本的にカード決済で問題ないです。ご飯代を割り勘するときは役立ちますが、現金を沢山余らせている人が多かったので必要最低限でいいと思います。	

【備考】

- ・プログラム費用には、主に現地大学プログラム参加費、宿泊費、航空券代等が含まれます。
- ・上記費用の補助として、立正大学から奨学金15万円給付。

3. 通信関係の情報

携帯電話	Wi-Fiルーターを用意（レンタル含む）		
かかった通信費用	2-3万円		
PC（持参有無）	持参した	PC（必要性）	必要ではなかった
通信機器類に関するアドバイス			
ポケットWi-Fiを持っていきましたが、SIMの方が移動時などは便利だったと思います。			

語学研修

海外研修に関するアンケート

4. 研修先や周囲の環境

良かった点

慣れない環境で英語に親しむことができた。授業中に聞く英語ではなく、飲食店や街ですれ違う人からきこえるリアルな英語を沢山耳にすることができました。

大変だった点

何かがあった際にすべて英語で対処しなければならなかったこと。大きなトラブル等はなかったですが、日本語と同じように気軽に助けを求めることができなかつたことが少しストレスでした。

5. 宿泊先

宿泊先からキャンパスまでの距離	徒歩	約 25 分
自分以外の同居学生	なし	
同居学生がいる場合の内訳		
ホストファミリーの構成 ※ホームステイ	ホストファザー、マザー	
宿泊に関するアドバイス		
シャワーの時間など、水関連のルールに戸惑う人が多かった印象。		

6. プログラム内容

授業内容

英会話を重視した内容。
ゲームや映画を通じてコミュニケーション力を養う内容が多かったです。

スケジュール

9:00~15:00まで、1コマ約1時間~1時間30分が3コマあったと思います。
授業の合間やお昼休みなど、授業間はゆとりをもって休むことができました。

休日の過ごし方

カンタベリーを散策したり、皆でロンドンに行って観光したりと自由に時間を使うことができました。

プログラムに参加して良かったこと（こういった点で成長できた等）

日本とは違い1人では何とかできないことがあったので、問題解決力が向上したと思います。

大変だったこと・困ったこと

水を大切にしなければならなかったこと。日本よりも水の扱いにシビアだったので、無駄つかいをなるべくしないよう心掛けていました。

海外研修に関するアンケート

7. 参加を検討している学生へ向けて

参加するにあたり、事前に準備すべきだと感じたこと

英会話中心の勉強。頭でわかっているけど、実際に会話でうまく話すことは難しいと思うので、英語を声に出す機会を自分で設けることが大切だと思います。

参加を検討している学生へのメッセージ

大学生活の中で忘れられない経験の1つになると思うので、思いっきり楽しんでください！

語学研修

海外研修に関するアンケート

1. 基本情報

渡航先	Canterbury Christ Church University	渡航国	イギリス
プログラム期間	2022年8月13日（土）～9月4日（日）	宿泊形態	ホームステイ
参加理由	異国の生活を体験してみたかったから。現地の人と直接話して実用英語を学びたかったから。		

2. 費用等の情報

項目	概算費用（日本円）
プログラム費用（出発前に支払い）	¥512,000
プログラム費用以外（現地で発生したのも含む）※	¥80,000
合計	¥592,000
※プログラム費用以外で発生した主な費用	
私の場合はお土産や観光に行った際の食事代と交通費にかなりお金を使いました。	
決済方法等に関するアドバイス	
基本的にはクレジットカード決済です。ただ、観光地の入場料など現金しか扱っていない場所もあるため、現金も常備しておくべきだと思います。多く余らせてしまうと換金に手数料が多くかかってしまうため短期だと5万円ほどが良いかと思います。	

【備考】

- ・プログラム費用には、主に現地大学プログラム参加費、宿泊費、航空券代等が含まれます。
- ・上記費用の補助として、立正大学から奨学金15万円給付。

3. 通信関係の情報

携帯電話	SIMカードを用意（レンタル含む）		
かかった通信費用	¥2,500		
PC（持参有無）	持参した	PC（必要性）	必要
通信機器類に関するアドバイス			
空港でWiFiルーターをレンタルすると3週間でも1万円ほどかかってしまうため、予め現地のSIMカードを購入していく事を強くお勧めします。授業でプレゼンテーションをする際に使うため、PCは持っていくべきだと思います。			

海外研修に関するアンケート

4. 研修先や周囲の環境

良かった点

事前に言われていたほど治安は悪くなく、差別なども感じなかったため安心しました。親切に道を教えてくれたり、レジで慣れない通貨を数えるのを手伝ってくれたり、とても優しく接してくれる方ばかりでした。カンタベリーは世界遺産の大聖堂がある観光地ですが、町の真ん中を澄んだ川が流れており、周りに自然も多いです。とてものんびりした異国情緒あふれる町の雰囲気が自分には心地よく、とても合っていると感じました。

大変だった点

の店員さんやバスの運転手など、移民の方も多い印象で、様々ななまりがあり知っている単語も聞き取れないことが大変でした。私のホストファミリーはイギリスの方でしたが、年齢が上の方だったためかなまりが強かったです。

5. 宿泊先

宿泊先からキャンパスまでの距離	徒歩	約 15 分
自分以外の同居学生	なし	
同居学生がいる場合の内訳		
ホストファミリーの構成 ※ホームステイ	ご夫婦と娘さん	
宿泊に関するアドバイス		
ホームステイの場合、洗面所などがファミリーと共同のため、自分が使った後は軽く掃除するなど小さなことに気遣うことを意識すると良いと思います。		

6. プログラム内容

授業内容

長文読解から、文法の間違い探しゲームや世界の文化に関するゲームなどの楽しく学べるものまで様々な方向から英語にふれました。授業中はほぼ日本語禁止で、少人数グループの活動が多いため、一人一人が英語を話す時間が長く、集中的に話す練習ができました。

スケジュール

授業は、午前は9時から10時半、小休憩を挟んで11時から12時半まで二コマありました。午後は13時半から15時までの一コマで、その後は自由行動ができます。学校側で様々なアクティビティが用意されているためそれに参加したり、友達とパブに行ったり大聖堂を見学したり図書館で勉強したりと自由行動ができる時間は割と多かったです。

休日の過ごし方

ロンドンやドーバー海峡など、日帰りで行ける場所にみんなで観光に行きました。バレエやダンスなどの学校側が用意するアクティビティに参加することもできます。

海外研修に関するアンケート

プログラムに参加して良かったこと（こういった点で成長できた等）

ホストファミリーとの生活や店員さんや駅員さんとの会話など、何気ない会話が聞き取れたり受け答えができ、自分の英語に少しずつ自信を持つことができるようになったことです。また、日常生活だけでなく、出かけ先でのトラブルも通し、文法も単語も間違ってしまうのが英語を話すことを躊躇しなくなったことが大きな成長だと感じます。

大変だったこと・困ったこと

ロンドンに出かけた際、道に迷ったり地下鉄で乗るべき線が見つからなかったりと、思わぬところで時間を使ってしまう事がありました。事前に乗るべき電車とホームへの行き方を調べておくなど、忙しくとも事前準備はしておいた方が良いと痛感しました。

7. 参加を検討している学生へ向けて

参加するにあたり、事前に準備すべきだと感じたこと

準備すべきだったと後悔していることは特にありませんが、日本の夏よりもイギリスの夏は圧倒的に涼しいため、長袖の上着は数枚持って行ってよかったと思いました。

参加を検討している学生へのメッセージ

英語力に自信がなく、参加前は不安だけでしたが、行ってみればすべて何とかなりました。大変だったこともあったはずですが、思い返せば本当に楽しかった思い出ばかり残っており、もう一度行きたいくらいです。イギリスに行ってみたくらいという軽い理由でも、行きたい気持ちがあるなら時間がある今のうちにぜひぜひ参加してみてください。とてもかけがえのない思い出ができます。

語学研修

海外研修に関するアンケート

1. 基本情報

渡航先	Canterbury Christ Church University	渡航国	イギリス
プログラム期間	2022年8月13日（土）～9月4日（日）	宿泊形態	ホームステイ
参加理由	日本国内で英語学習を行うのみならず、現地において文化や生活の違いを感じながら英語を学習することで、その学習における意欲を上げると同時に、自分自身にとって海外へ研修に行ったという良い経験としたかったから。		

2. 費用等の情報

項目	概算費用（日本円）
プログラム費用（出発前に支払い）	¥512,000
プログラム費用以外（現地で発生したものも含む）※	¥130,000
合計	¥642,000
※プログラム費用以外で発生した主な費用	
主な出費はお土産代であるが、観光への交通費なども大きな出費となった。	
決済方法等に関するアドバイス	
現地では現金、クレジットカード共に使用することができるが、クレジットカードのみしか対応していない飲食店も少なからずあった。そのため、現金を多く持って行くことは勧めない。ただ、本研修は複数人で行くため交通費や食事代の割り勘などは、現金対応の店舗において便利であるといえる。	

【備考】

- ・プログラム費用には、主に現地大学プログラム参加費、宿泊費、航空券代等が含まれます。
- ・上記費用の補助として、立正大学から奨学金15万円給付。

3. 通信関係の情報

携帯電話	Wi-Fiルーターを用意（レンタル含む）		
かかった通信費用	¥44,100		
PC（持参有無）	持参した	PC（必要性）	必要
通信機器類に関するアドバイス			
私は携帯などの通信機器の接続に、グローバルWi-Fiを使用した。それはポケットWi-Fiのようなもので学校や家以外の場所でも使えるものだった。しかし、大学等にはフリーWi-Fiがあるため、毎回そちらに切り替えるのは面倒であった。また、グローバルWi-Fiに接続するのも多少面倒であり、すぐに接続出来る時もあればなかなか出来ないときもあった。PCについては、家において課題をする分に当たっては便利であるが、学校にもパソコンは常備されており、スマホでも対応可能な課題であるため、必須であるとは言えない。			

海外研修に関するアンケート

4. 研修先や周囲の環境

良かった点

とても治安がよく、歴史的建造物も見ることが出来た。また、自然が広大で日本とは違った環境であることは間違いない。また、交通の便も良くロンドンへは乗り換え無しで行ける。

大変だった点

飲食店でのチップやバスがおよそ20台ほど止まっていることがあるので、どのバスに乗ればいいのかが大変だった。

5. 宿泊先

宿泊先からキャンパスまでの距離	徒歩	約 15 分
自分以外の同居学生	あり	
同居学生がいる場合の内訳	同居人は1人で部屋は別々であった。	
ホストファミリーの構成 ※ホームステイ	ホストマザー・同居人・自分	
宿泊に関するアドバイス		
その家独自のルールやマナーがあるため、わからないことはホストファミリーに聞いた方が良い。また、イギリスでの水道事情も多々あるため、水の使い方は注意した方が良い。		

6. プログラム内容

授業内容

主にスピーキングの授業が多かった。自身持って話せる事が出来るように自分の考えたことを言葉に出すという授業がメインだった。また、先生も当然英語で話しているため、リスニング能力を向上させることもできる。時々、リーディングやライティングの授業があるが、1,2回程度である。

スケジュール

水を大切にしなければならなかったこと。日本よりも水の扱いにシビアだったので、無駄つかいをなるべくしないよう心掛けていました。

休日の過ごし方

休日は主に観光をした。ロンドンへ行ったり、ドーバー海峡など巡った。もちろんカンタベリー市内も巡った。しかし、研修が後半になるにつれて訪れる場所が限られてくるため、研修に参加する前に観光したい場所を、より多くピックアップしておいたほうが良い。

プログラムに参加して良かったこと（こういった点で成長できた等）

本プログラムに参加して第一に英語のリスニング能力・スピーキング能力が格段と成長することが出来る。これは個人差があると思うが、現地の人とどれだけ話したかによると思う。しかし、普通に生活していても英語を話さなければならない時が多々あるため、自然と成長していくだろう。また、日本と全く違う環境、文化に触れることで、広い視点で日本のことを見つめることが出来るため、日々の生活において視野を広く保つことが出来るようになる。

海外研修に関するアンケート

大変だったこと・困ったこと

大変だったことは飲食店での注文である。メニューに書いてあるものを注文することは簡単であるが、それについているオプションを店員さんから聞かれると、話すスピードが速いからか初めは聞き取れないことがあった。また、日本とは違うマナーがあったのでその点において苦戦をした。

7. 参加を検討している学生へ向けて

参加するにあたり、事前に準備すべきだと感じたこと

研修先を事前にどういった場所なのかをよく調べておいたほうが良いと感じた。というのも、事前に調べておいた方が、どういった街なのか、何が有名なのかを知ることが出来るため、現地へ行った後の行動がしやすいと感じた。また、海外の礼儀やマナー、飲食店でのチップ等も調べた方が、そのときになって焦らずに済むと思った。

参加を検討している学生へのメッセージ

参加が決定している学生さんにはぜひ参加してほしいのは変わらないが、参加を迷っている学生さんは、自分の将来への投資だと思って行ってきてほしいと思う。現地での生活はそのぐらい自分の為になると思うし、何にも変えられない経験値になると思う。そして参加を検討されている学生さんには、事前に何を学びに行くのかを明確にすることが大切であると考えている。ただ現地で暮らしていてもただの旅行になってしまい、自分に何も身につかないが、目標を持って参加することによって以前自分が思っていた以上の成果を獲得することが出来ると思う。なので、参加する意味、目標を明確にして本研修に参加することを望む。